

平成 28 年度 第 2 回北栄町男女共同参画審議会議事録

1 日 時 平成 28 年 8 月 24 日 (水) 午後 7 時～8 時 30 分

2 場 所 大栄農村環境改善センター会議室 3

3 出席者 委 員 別紙委員名簿のとおり
事務局 企画財政課 小澤課長、藤江室長

4 日程及び内容

1. 開 会

2. あいさつ
永田会長

3. 議 事

(1) アンケートの実施について

町民アンケート (資料 1)

《事務局説明》

第 3 次計画策定のための基礎資料として、町民対象、そして今回は新たに事業所を対象としたアンケートをそれぞれ実施しますが、それぞれのアンケート実施についてご意見をいただきたいと思えます。

まずは、町民さんを対象としたアンケートの実施について説明します。

資料 1 をご覧ください。

調査目的としましては、第 3 次計画策定のための基礎資料ということで、調査対象等については、住民基本台帳から無作為に抽出した 18 歳以上の町民、男女 450 人ずつに郵送配布によるアンケートを実施します。基本的には第 2 次計画策定時と変わりませんが、先回ご意見をいただきました対象年齢を 18、19 歳も含め、さらにアンケート調査票は北栄町ホームページに掲載し、ウェブ上で回答できるようにしたいと考えています。(アンケートの依頼文にアンケート調査の QR コードを掲載するようにします。)

アンケート調査票の案につきましては次ページ以降にあります。少し見にくいですが、第 2 次計画策定時のアンケート内容をもとに修正・削除した箇所は赤字で記載しています。

内容については、第 2 次計画策定時のアンケート結果と比較できるよう、大きく変えてはいませんが、設問が計画に反映されていないもの (P5 問 7、P7 問 12、P8 問 14、P9 問 15)、分析に必要ないもの (P1③、⑤、⑦、⑧) については削除しました。また、問 11 (P6) については、設問の内容を DV だけでなくセクハラについても追加し、自身や周りの人が被害を受けたことだけではなく、言葉の内容を知っているかどうかについても問うようにしています。

選択肢については、回答がしやすいようにまとめたり、わかりやすい文章に修正したりしています。

⑥ (P1) について、単身世帯をひとり暮らしと単身赴任に分けているのをひとつの選択肢にまとめます。問2 (P2) の「4」と「12」についてはすでに法整備がなされているので削除し、「7」については、家庭生活と地域活動の同じに考えることが難しいので、「地域活動」の文字を削除しました。

問4 (P3) については、「①食事のしたく」と「②食事の片づけ」を別項目にしていたのをひとつに、「⑥小さい子どもの世話」の「小さい」を削除、「⑨子どもの学校の活動・行事」を追加しました。

問4-1については、「4」の選択肢を削除しました。

問5 (P4) については、「地域・個人の生活」で地域活動というと一般的に自治会活動等と捉えがちになってしまい、個人の生活からは切り離れたほうが良いと判断し、「地域」の文字を削除しました。また、(A)、(B) の設問が「もっとも近いもの」としてあるので、それぞれ「わからない」という選択肢については削除しました。

問6については、問5と同じく「地域活動」を削除し、全ての選択肢から「男性が」または「男性による」という文字を削除しました。選択肢の「2」については「1」と統合し、「4」「8」「12」については削除しました。

問9 (P5) については、選択肢「3」と「4」、「9」と「10」をそれぞれ統合し、「5」「6」については削除しました。

問10 (P6) については、選択肢「3」と「4」を統合し、「7」については削除しました。

問13 (P7) の次に、「Ⅲ就労・働き方について」と同じように、地域活動への女性の参画について必要なものを問う設問を設けました。

問16 (P16) については、設問中「町内会」というものは北栄町にはありませんので削除しました。選択肢「3」の文中は「支援」と「協力」が似たような意味であることから「支援」を「理解」とし、「8」については削除しました。

問17については、選択肢「9」については「8」と同様であるので削除しました。

以上、町民アンケートの実施案についての説明です。

《質疑・意見》

- ・内容がだいぶスリムになったので答えやすいと思う。
- ・ホームページにアンケート調査票を掲載することだが、アンケート調査を送付した人以外でも答えられるようになるのでは。そうすると回答者の年代にバラつきが生じてしまうのでは。
→そもそも調査対象者数を同じにしても回答はバラつきがあり、先回のアンケートでの20代の回答回収率は2割程、一番多い60代の回答回収率は5割と年代のバラつきはどうしても生じてしまう。アンケートの集計結果を分析するときどの年代別で回答の内容を分析するなどして、計画に反映することができればと考える。
- ・問2の選択肢4、12について法整備がなされたことから削除したとのことだが、残してほしい文言ではある。
→この選択肢についてはあくまでも法整備についての選択肢であるので、例えば

「性差別につながるものを改める」については5や6の選択肢に含まれていると思われる。あまり選択肢が多いと回答者が混乱することもあるので、なるべく少なくして回答しやすくすることが目的であるので、理解していただきたい。

- ・問4について、「①食事のしたく・片づけ」と同じ項目にまとめたとのことだが、夫婦でそれぞれ分担しているところも多いので、別々の項目にしたほうがいい。
→別々の項目にする。
- ・問4について、主な担当だけでなく、協力があるかどうかについても答えられるようにしてほしい。
→選択肢等について工夫してみる。
- ・問9の選択肢3、4をひとつにまとめたということだが、先回のアンケートの集計結果では理解はあるが協力はないということが見えるので、別々にしておいたほうが、その後の動向がわかるのでは。
→別々の項目にする。
- ・他にもいろいろな意見があるかと思うが、事務局からアンケート調査票の修正案を出していただき、検討していただきたい。
→会議録と一緒に修正案を送付するので、意見がありましたらお願いしたい。

事業所アンケート（資料2）

《事務局説明》

続いて、今回新たに実施したい事業所を対象としたアンケートについて説明します。資料2をご覧ください。

これは、鳥取県が実施している事業所アンケートをもとに作成しましたアンケート調査票の案です。対象については、これから商工会等に相談したいと考えますが、従業員数が10人以上等、ある程度絞ったほうがいいのかと思います。

アンケートの設問は、大きく分けて、女性の活躍推進の取り組み、育児休業・介護休暇、セクシャル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント防止の対策の3つです。

《質疑・意見》

- ・問4 育児休業制度について、正社員は利用できるが非正社員は利用できないなど、雇用形態によっても違う。そのことがこのアンケート調査からは見えないのでは。
→問4-1の「利用があった」で男女の利用人数を記述してもらおうが、そこに勤務形態別の人数も記述するようにする。（※問6-1も同様に）
- ・育児休業、介護休業もだが、子の看護等での休暇制度がなくて困っているという話をよく聞く。看護休暇制度についても実態を知りたい。
→問6に「介護・看護休暇制度」を付け加える。
- ・問8でセクシャル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメントの説明が後のほうに記述してあるが、設問内にマタニティ・ハラスメントについての記述がないので、わかりにくい。
→設問に「マタニティ・ハラスメント」を付け加える。

(2) その他

《事務局》

次期審議会の委嘱について、今期の審議会は10月末で委嘱期間が終わりますが、各団体から推薦を受けている委員の方には団体の任期終了まで引き続きお願いしたい。

4. その他

《事務局》

次回審議会の開催は、新たな審議会の体制ができてから、次期計画の骨子案について審議していただく。

《片山副会長》

よりん彩の事業について紹介。ぜひ活用していただきたい。

5. 閉 会

20:30 終了